


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立松原高等学校 定時制課程		教育課程の特徴 ●基礎学力の定着を図るICT機器を活用した授業や特別活動の実施 ●地域との交流や協働により、社会人としての力を高める学校行事の実施	●基礎学力の定着を図るICT機器を活用した授業や特別活動の実施 ●地域との交流や協働により、社会人としての力を高める学校行事の実施									
		「ゆっくり」「しっかり」「一歩ずつ」			進路指導	実績	四年制大	7%	短期大	14%	専門学校	29%	就職	29%
基本情報	所在地	〒156-0045 世田谷区桜上水四丁目3番5号		電話番号	03-3303-5381									
	アクセス	(1)京王線「桜上水」駅下車 徒歩5分 (2)京王線「下高井戸」駅下車 徒歩7分 (3)東急世田谷線「下高井戸」駅下車 徒歩7分												
	学科	普通科												
	生徒数	41(男子32・女子9)												
	その他	▼夜間定時制・四年間 ◆三学期制 ◆45分4時間授業		校 服	なし									
本 情 報	主な部活動	軟式野球部、陸上競技部、自転車競技部、トレーニング部、音楽部、ボランティア部 他												
	学校評価	学校生活満足度 生徒85% 教員96% 保護者88%												
本 情 報	入学募集	30名(男女別の定員なし)												
	入学選抜	成人受検制度あり												
本 情 報	主な学校行事	●キャリア体験活動 ●防災教室 ●文化祭 ●スポーツ大会 ●校外学習												
	ホームページ	http://www.matsubara-h.metro.tokyo.jp/site/tei/												

目指す学校 教育目標「人格の完成を目指し、有為な社会人を育成する。」実現のために
 1 基礎・基本を身につける学校 2 生きていく力を育てる学校 3 信頼される学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価											
目標①	学習指導：基礎学力の向上と授業改善 ○基礎学力向上を目的とした取組 国・社・数・理・英について、全ての生徒が安心して取り組める内容→学習における理解力や課題の把握→生徒の興味・関心と学習意欲を高める授業の構築 ○全教員による相互授業参観→意見交換・校内研修→学習面の課題解決	○夏季休業中や学期末の定期考査終了後に、基礎学力向上を目的とした補習や授業を取り入れながら生徒の基礎学力向上に努めた。さらに、相互授業参観や意見交換を行うことによって、生徒一人一人が抱えている学習上の課題を把握することができた。○生徒が授業等に興味・関心が持てるよう積極的にICT機器を積極的に活用したり、常に指導方法の改善を図ったりしながら、教職員が授業力の向上を心がけている。特に、漢字検定を利用した学習では、目安となる学年にとらわれることなく取り組んだことが学習意欲を高めることに効果があった。											
目標②	生活指導：規範意識向上と生徒との信頼関係構築 ○学校生活全体を通じた挨拶の励行 ルールやマナーを重んじる態度の育成→生徒との信頼関係強化→生きていく力の育成 ○生徒同士の協働や交流を基盤とする学校行事・部活動の推進 多様性を尊重し合う態度→良好な人間関係の構築	○ルールやマナーといった規範意識を高めるために、授業の開始及び終了時には各教科で挨拶を励行し、生徒との信頼関係構築の基礎とした。ほぼ全員が、学校生活の中でしっかりと挨拶ができる。○生徒会を中心とした学校行事の設定や生徒主体の行事を取り入れ、生徒との信頼関係を深めることができた。また、部活動を通じて学校への帰属意識を高めることもできた。80%の生徒が学校評価アンケートで「学校生活が楽しく感じている」と回答している。○「生徒理解フォーマット」を活用した情報の共有が、問題行動の未然防止に有効に作用しており、今年度の特別指導は1件に留まった。											
目標③	進路指導：社会参画意識向上と地域連携 ○地域とのつながり・地域貢献や協働体験の実施 社会への興味・関心の効果的な高揚→正しい勤労観や就労感の育成 ○計画的なキャリア体験活動の実施 関係機関・団体との連携→職業の現実的なとらえ方→進路選択への自信	○「都立高校生の社会的・職業的自立支援プログラム」を活用したキャリア体験活動や就職後の離職者をなくすためにインターンシップを取り入れ、社会とのつながりを意識させ、生徒の意識を高めるように努めた。また、近隣大学と連携し、生徒の基礎学力の定着を図るためにチューター制を導入した。卒業生15名の内、進学または就職を希望した生徒は14名で、進路決定率は93%であった。○奉仕体験活動や防災教室等の学校行事では、地元商店街、地域消防署、地元消防団の方々に協力をいただき、主体的で対話的な深い学びを実践しながら、地域の一員としての自覚や、災害時の自助・共助について学習した。											

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	授業に対する肯定的評価(授業満足度)の向上(%)	82	64	85	75	85	79	85	73	90	90	90
目標②	中途退学者の減少(人)	0	1	0	7	0	3	0	9	0	0	0
目標③	卒業時の進路決定率(%)	90	68	90	73	90	79	90	93	90	90	90